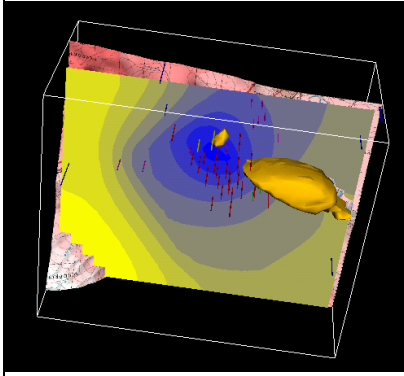
	<h2 style="text-align: center;">地下水盆構造と地下水の動態をさぐる</h2>
<p style="text-align: center;">柴崎 直明 Shibasaki Naoaki 博士(理学) 大阪市立大学 技術士(応用理学)</p> <p>1983年 国際航業(株)入社 1988年 インド国立地球物理学 研究所客員研究員 1990年 国際航業(株)主任技師 2000年 国際航業(株)海外事業部 主任技師 2004年 福島大学教授</p>	<p>地下水は地表水と異なりその流れを直接目で見ることは難しいが、人類は歴史時代から地下水資源を利用してきた。我が国でも、地下水は一般に良好な水質を有し、水量・水温が比較的安定していることから、飲料用だけでなく農業用水、工業用水などとして利用されている。しかし、地下水の無秩序な開発は、地下水位の低下や地盤沈下、塩水浸入等の深刻な地下水障害を引き起こし、各地で大きな社会問題となった。また、開発途上国では地下水資源の量・質について十分な調査が行われないうまま、水需要の急増に伴い地下水が過剰に揚水され、日本がかつて経験した地下水障害が現在発生している。さらに、近年はヒ素やフッ素、硝酸等による地下水汚染が世界各地で問題となっており、安全な飲料水の確保が大きな課題となっている。貴重な資源である地下水を持続的に有効利用するためには、地下水の容れ物である地下水盆の構造や帯水層の特徴を解明するとともに、シミュレーションモデルを使って地下水の動態を量的・質的に把握することが不可欠である。また、適切な地下水盆の管理のためには、地下水盆の実情に合ったモニタリングネットワークを構築するとともに、社会経済状況や地域の水文化、伝統的水利用を考慮した管理目標を設定しなければならない。そのためにも、専門領域だけでなく関連する分野とも学際的に協力して、社会に役立つ実践的な研究を進めていきたい。</p> 
<p>学会活動 日本地質学会評議員 同上 執行委員 同上 国際交流委員会委員長</p>	<p>主な研究分野</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水文地質構造の把握と帯水層パラメータの推定 ② 適切な地下水モニタリングと地下水盆管理手法の開発 ③ シミュレーション解析による地下水の動態把握
<p>社会活動 応用地質研究会会員 アジア砒素ネットワーク会員 JICA 短期派遣専門家(バングラデシュ国地下水砒素汚染対策、エチオピア国地下水開発・水供給訓練プロジェクト)</p>	<p>相談に応じられる分野・テーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水文地質や地下水に関する調査・研究 ② 地下水開発・管理計画の策定に関する調査・研究 ③ 地下水障害(地盤沈下、地下水汚染、塩水浸入等)の予測・評価 ④ 地下水シミュレーション解析およびGISデータ解析 ⑤ 応用地質全般(土木地質、防災地質、環境地質など) ⑥ 海外における共同研究・協力プロジェクト
<p>主な担当科目 地下水盆管理学概論 地下水盆管理調査法 ほか</p>	<p>キーワード 水文地質、地下水盆管理、地盤沈下、地下水汚染、シミュレーション解析、GISデータベース、モニタリング、帯水層評価、水収支</p>
	<p>代表的な業績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Study on Methodology of Practical Parameter Estimation for Groundwater Modeling Based on Hydrogeological Classification. Jour. of Geosciences, Osaka City University, Vol. 42, Art. 2, 21-43, 1999. ・ Relationship between transmissivity and specific capacity for evaluating aquifer characteristics. Jour. Geol. Soc. Japan, 102, 419-430, 1996.